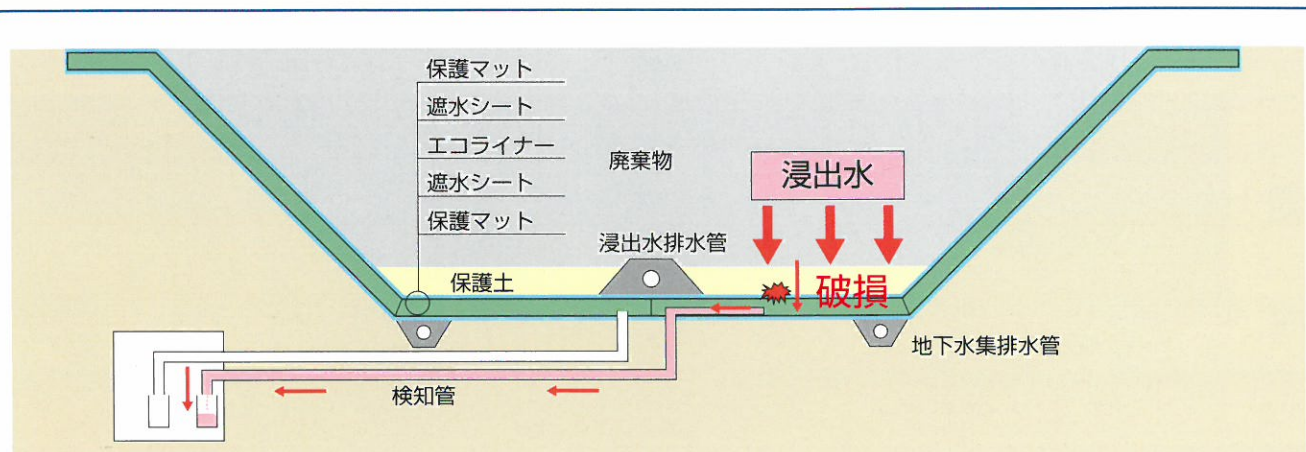


## 漏水検知修復工法 (MTS工法)

### 特長

- 排水材を遮水シート間に介在するため、浸出水を速やかに排水できます。
- 確実に破損箇所の検知ができ、ブロック区画割りを行うことで破損箇所を特定できます。
- 自然流下による検知方法を採用しているため、特殊な設備が不要です。

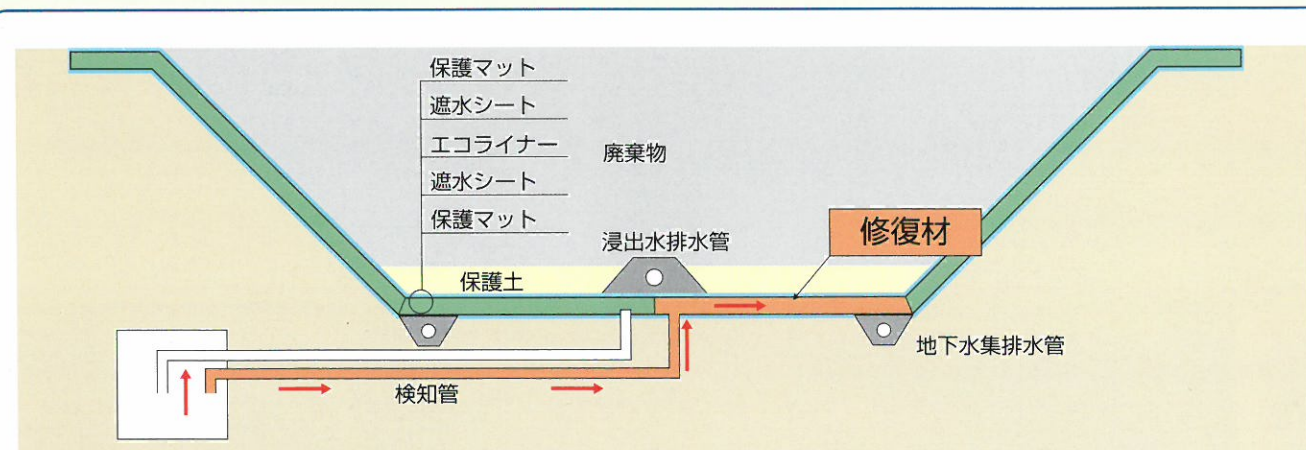
### 漏水検知の基本原則



### POINT

遮水シートが破損すると浸出水は、エコライナーから検知管へと自然流下し、集水容器に流れ込みます。集水容器には、浸出水の流入を知らせる警報装置を設置し、24時間監視を行います。

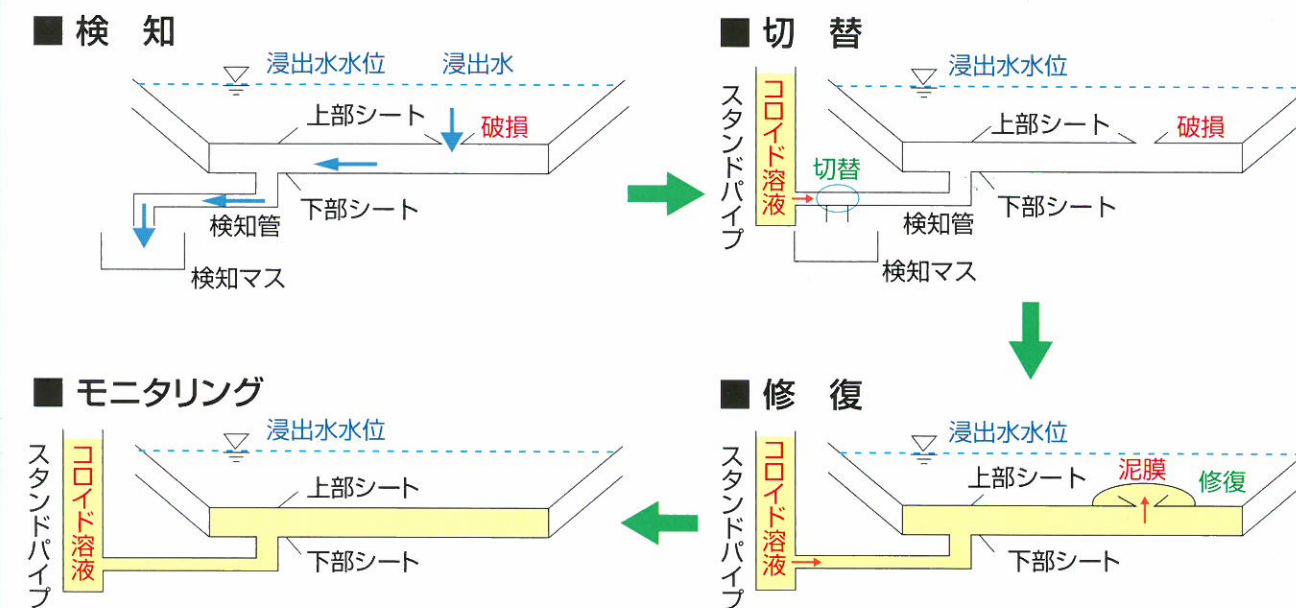
### 修復方法の基本原則



### POINT

検知管より、液状修復材を注入します。エア抜き管より修復材が流出した時点で注入を完了します。修復材は、注入完了後、硬化し、変形追従性が良好で、耐薬品性に優れています。

### 修復-再漏水検知フロー



### 工法概要図

### MTS工法 (自然流下検知システム) 概要説明

